

高分子学会九州支部フォーラム

主 題 高分子による免疫・生体応答の制御は可能か？

趣 旨 高分子材料は、無機材料と並ぶ代表的な生体適合性材料である。生体適合性の高分子材料は、従来の生体に認識されないステルス性の材料に加えて、近年、抗炎症などの免疫抑制性のシグナルを積極的に入力する材料が生み出され、注目されている。これら二つの高分子材料は、これまで、それぞれ独立に研究されており、包括的な立場から議論されることはなかった。一方で、近年、PEG に代表されるステルス性高分子の限界が明らかとなり、免疫学の理解に基づいて、新しい原理で生体適合性材料を生み出すことが強く求められている。本フォーラムでは、高分子材料に対する免疫・生体応答に関して、先進的な取り組みを行なっている研究者が一堂に会して講演し、高分子学会九州支部の皆様と議論することで、これらの問題に対する高分子科学と免疫学に基づくひとつの答えを導き出すことを目的とする。

主 催 高分子学会九州支部

日 時 2020年1月10日(金) 13:00~17:20

会 場 九州大学伊都キャンパス (CE41 棟 1 階 第一セミナー室)

交 通 JR 筑肥線九大学研都市駅から昭和バス「九大工学部前」下車

プログラム (敬称略)

13:00~13:05 開会

13:05~13:35 「Type3 中間径フィラメントに相互作用を有する N-アセチルグルコサミン(GlcNAc)

糖鎖高分子を用いた医療材料の開発」(九大) 伊勢 裕彦

13:35~14:20 「スマートポリマーで拓く未来医療」 (NIMS) 荻原 充宏

14:20~15:00 「モデル表面を用いた生体-材料間相互作用の解析」 (九大) 有馬 祐介

(休憩)

15:20~16:00 「免疫異常はまれな現象なのか? -疾患解析から見えてきたこと-」 (長崎大) 大山 要

16:00~16:45 「PEG 修飾リポソームに対する免疫反応~抗 PEG 抗体と ABC 現象の誘導」

(徳島大) 石田 竜弘

16:45~17:15 「高分子基材細胞培養デバイスの三次元組織体形成における有用性」 (九大) 穴田貴久

17:15~17:20 閉会

参加要領

- 1) 参加費 無料
- 2) 申込方法 氏名、所属、連絡先を明記の上、E mail にてお申し込みください。
- 3) 申込締切 2020年1月7日(火)

申込・連絡先 九州大学大学院工学研究院応用化学部門 森 健

E-mail: mori.takeshi.880@m.kyushu-u.ac.jp

電話: 092-802-2849